

タグチアートコレクション×

弘前れんが倉庫美術館

展

ジャナイナ・チエッペ、
マウリツィオ・カテランから
塩田千春、奈良美智まで



Taguchi Art Collection x
Hirosaki Museum of Contemporary Art

How Did You Come into the World?

どうやってこの世界に
生まれてきたの？

www.hirosaki-moc.jp



2024.9.27(金)ー2025.3.9(日) 弘前れんが倉庫美術館

休館日|火曜日、12月26日(※)ー1月1日(※)、2月12日(※) ※2月11日(※)は開館 開館時間|9:00-17:00(入場は閉館の30分前まで) 主催|弘前れんが倉庫美術館
特別協力|タグチ現代芸術基金、一般社団法人アーツプラス現代芸術研究所、アート・オフィス・シオバラ 協力|Port B、MISA SHIN GALLERY、
弘前市内マクドナルド4店舗、株式会社ヤマハミュージックジャパン 特別協賛|スターツコーポレーション株式会社 協賛|株式会社大林組、
株式会社NTTファシリティーズ 後援|東奥日報社、デーリー東北新聞社、陸奥新報社、青森放送、青森テレビ、青森朝日放送、
エフエム青森、FMアップルウェーブ、弘前市教育委員会 Closed|Tuesdays(except on Feb.11) from Dec.26, to Jan.1, Feb.12.
Opening hours|9:00-17:00 (Last admission 30 minutes before closing)

HIROSAKI
MUSEUM
OF
CONTEMPORARY
ART

幸せになるために生まれてきたわたしたち

わたしたちはどうやってこの世界に生まれてきて、何をめざして生きているのでしょうか。

現在の世界では、戦争や身近ないさかまで、理解できない他者への怖れによって引き起こされる、終わりの見えない争いや分断が絶えることはありません。旅をしている人々と出会ったり、意見の異なる人と話し合ったりするわたしたちの行動は、こうした分断の溝を埋めて、それぞれが幸せになるための方法であり、安住の地や仲間に出会い、本当の自分を見つけることがこの世界に生まれてきた意味かもしれません。

本展で紹介するのは、日本を代表する現代美術のコレクションであるタグチアートコレクションと、弘前れんが倉庫美術館の所蔵作品による世界各地で活動するアーティストたちの作品です。身近な空間から異世界への扉を開いてゆくミカ・ロッテンバーグ、詩的な旅のイメージの中に不穏な歴史が重なり合うトゥアン・アンドリュウ・グエン、弘前の歴史の一端が垣間見えるロック喫茶と奈良美智の作品、自分の身体を通じて世界と向き合う片山真理、そして本展のタイトルにもなった塩田千春の作品に加えて、街の中で展開する高山明のプロジェクトなど、絵画や写真、映像やレクチャー型のパフォーマンスまで、多彩な作品を通じて、生きることと幸せについて考えようとする展覧会です。

[出品作家] カミュー・アンロ、尹秀珍、トレイシー・エミン、オスジェメオス、ミリアム・カーン、片山真理、マウリツィオ・カテラン、加藤泉、金氏徹平、モリー・ギャレス、キューンチョメ、草間彌生、トゥアン・アンドリュウ・グエン、工藤麻紀子、鴻池朋子、塩田千春、杉戸洋、高田冬彦、高橋喜代史、高山明、ジャナйна・チェッパ、千葉正也、ヴァジコ・チャッキアーニ、奈良美智、西村有、ウラ・フォン・ブランデンブルク、藤倉麻子、アド・ミノリティー、ヤン・ヘグジュ、ガブリエル・リコ、ピロツティ・リスト、ゴセット・ルボン、ミカ・ロッテンバーグ、渡辺豪 ほか

[上映プログラム] ハンス・オブ・デ・ビーク、インカ・ショニバレCBE、ムン・キョンウォン & チョン・ジュンホ、山城知佳子

—We who are born to be happy

The world today is drenched in conflict and division, from war to fighting closer to home, sparked by fear of things and others beyond our understanding. Traveling and meeting all sorts of people, talking with those whose views differ from our own, are ways for us to bridge such divisions and each find our own happiness, and encountering a safe haven and like-minded souls, and finding our true self, may well be the reason we were born into this world.

Featuring over 40 artists and artist units from across the globe, this exhibition contains works from the Taguchi Art Collection, one of Japan's leading contemporary art collections, and the holdings of the Hirosaki Museum of Contemporary Art, plus a number of new works.

Artists: Camille HENROT, YIN Xiuzhen, Tracey EMIN, OSGEMEOS, Miriam CAHN, KATAYAMA Mari, Maurizio CATTELAN, KATO Izumi, KANEUJI Teppei, Maureen GALLACE, Kyun-Chome, KUSAMA Yayoi, Tuan Andrew NGUYEN, KUDO Makiko, KONOIKE Tomoko, SHIOTA Chiharu, SUGITO Hiroshi, TAKATA Fuyuhiko, TAKAHASHI Kiyoshi, TAKAYAMA Akira, Janaina TSCHÄPE, CHIBA Masaya, Vajiko CHACHKHIANI, NARA Yoshitomo, NISHIMURA Yu, Ulla VON BRANDENBURG, FUJIKURA Asako, Ad MINOLITI, YANG Haegue, Gabriel RICO, Pipilotti RIST, Gosette LUBONDO, Mika ROTTENBERG, WATANABE Go etc. Video screening: Hans OP DE BEECK, Yinka SHONIBARE CBE, MOON Kyungwon & JEON Joonho, YAMASHIRO Chikako

日本を代表する現代アートコレクションから世界の今を知る タグチアートコレクションとは

ミスミグループ創業者の田口弘氏と長女の美和氏が収集した、世界各地の現代美術からなるアートコレクション。2020年には公益性の高い活動を推進するために「タグチ現代芸術基金」を設立。近年はキュレーターの海外派遣など人材育成のための活動も行っています。https://taguchiartcollection.jp/

English



展覧会詳細



01

表 Front Image

ジャナйна・チェッパ Janaina TSCHÄPE (Xicletoformis Pluralis) 2005 タグチアートコレクション蔵 Collection of Taguchi Art Collection ©Janaina Tschäpe Courtesy of nca | nichido contemporary art

- 01 塩田千春 SHIOTA Chiharu 《どうやってこの世にやってきたの?》How did you come into the World? 2012 タグチアートコレクション/タグチ現代芸術基金蔵 Collection of Taguchi Art Collection and Taguchi Art Foundation ©JASPAR, Tokyo, 2024 and Chiharu Shiota
- 02 高山明 TAKAYAMA Akira/Port B 《マクドナルドラジオ大学》McDonald's Radio University 東京 Tokyo 2023 タグチアートコレクション/タグチ現代芸術基金蔵 Collection of Taguchi Art Collection and Taguchi Art Foundation Photo: Shunji Tanaka
- 03 トゥアン・アンドリュウ・グエン Tuan Andrew NGUYEN 《ザ・ボートピープル》The Boat People 2020 タグチアートコレクション蔵 Collection of Taguchi Art Collection Courtesy of the artist and James Cohan, New York
- 04 片山真理 KATAYAMA Mari 《on the way home #001》2016 タグチアートコレクション蔵 Collection of Taguchi Art Collection ©Mari Katayama



02



03



04

関連プログラム

映像作品上映 Video screening

[A] ハンス・オブ・デ・ビーク
Hans OP DE BEECK 《Dance》2013
インカ・ショニバレCBE
Yinka SHONIBARE CBE
《Odile and Odette》2005
日時 Dates | 10/13⑩、1/3⑨ 10:00-17:00

[B] ムン・キョンウォン & チョン・ジュンホ
MOON Kyungwon & JEON Joonho
《妙香山館》MYOHYANGSANGWAN 2014
日時 Dates | 11/3⑩、1/12⑩ 10:00-17:00

[C] 山城知佳子 YAMASHIRO Chikako
《チンビン・ウェスタン 家族の表象》
Chinbin Western - Representation of the Family 2019
日時 Dates | 12/8⑩、2/9⑩ 10:00-17:00

会場 | 館内スタジオB (ループ上映、無料)
Venue: Studio B in the museum

アーティストトーク

出演 | 片山真理(本展出品作家)、
田口美和(タグチアートコレクション共同代表)、
木村絵理子(当館館長)
日時 | 9/28④ 17:30-19:00
会場 | cafe & shop BRICK 美術館 隣接
(ワンドリンク付500円、50名、予約優先)

学芸スタッフによる解説ツアー

日時 | 10/13、11/3、12/8、1/12、2/9
⑩11:00-11:30(要観覧券、予約不要)
会場 | 展示室内

高山明による弘前大学講義(公開講座)

講師 | 高山明(本展出品作家)
日時 | 12/15⑩ 14:00-15:30
会場 | 弘前大学 青森県弘前市文京町1
(一般参加60名、予約優先)

その他のプログラム

○ 建築ガイドツアー
日時 | 10/19、11/16、12/21、1/18、2/15
④11:00-11:30(無料、予約不要)

○ 美術館のお正月 2025
日時 | 1/2⑧、1/3⑨

イベントの詳細や申込方法はこちら▶

観覧料 [税込] | 一般1,500円(1,400円)
大学生・専門学校生1,000円(900円)
※()内は20名以上の団体料金 ※弘前市民は上記金額から500円引き(他の割引との併用不可)
※無料:高校生以下、弘前市内の留学生、満65歳以上の弘前市民、ひろさき多子家族応援パスポート所持者、障がいのある方と付添1名
Admission [tax included]: Adults 1,500yen(1,400yen)
University & College Students 1,000yen(900yen)
*() Price for a group over 20 people
*Free of charge: high school students and under; international students in Hirosaki city.



アクセス

当館に駐車場はございません。
お車の方は近隣の有料駐車場をご利用ください。
観覧料割引駐車場(2名まで100円引き)
◎上土手町駐車場 ◎アウトエア弘前 ◎したとでスカイパーク ◎三井のリパーク弘前桶屋町 ◎三井のリパーク弘前桶屋町第2 ◎タイムズ中央弘前駅前

日本語 English
Access
アクセスの詳細はこちら▶



お問合わせ | 弘前れんが倉庫美術館
〒036-8188 青森県弘前市吉野町2-1
Tel: 0172-32-8950
Hirosaki Museum of Contemporary Art
2-1 Yoshino-cho, Hirosaki City, Aomori, 036-8188 Japan
www.hirosaki-moca.jp